

地区会活動報告

北海道地区会（2007年9月1日－2008年8月31日）

（1） 2007年度役員会を開催した。

開催日：2008年2月23日（土）

場所：札幌市、北海道大学・地球環境研究院

出席者：紺野康夫、齊藤隆、原登志彦、隅田明洋、小野清美

議題

1. 本年度活動報告
2. 会計報告
3. 来年度活動予定(地区大会)
4. その他

以上の件について審議の上、了承された。

（2） 2007年度 地区大会・総会を開催した。

開催日：2008年2月23日（土）

場所：札幌市、北海道大学・地球環境研究院

【若手研究発表】

「帯広市南部の分断林における野ネズミ 3 種(エゾヤチネズミ、エゾアカネズミ、ヒメネズミ)の分布とその決定要因」 渡邊淳之介（北大・環境科学）・紺野康夫（帯広畜産大）・石橋靖幸（森林総合研究所）・齊藤隆（北大・FSC）

「半島マレーシアの熱帯多雨林における樹木 200 種の樹冠構造の種間変異」 矢澤佳子（北大・環境科学）・久保拓弥・甲山隆司（北大・地球環境）

「ミズナラ林冠木個体に対する全切葉が植物の変化を介して植食性昆虫群集に与える間接効果：2年間の経過」 小暮慎一郎（北大・環境科学）・中村誠宏（北大・苫小牧研究林）

「コゲラ *Dendrocopos kizuki* の巣穴及びねぐら穴に利用される樹木」 椎名佳の美・東正剛（北大・環境科学）

「群集動態の予測可能性と空間スケール依存性」 深谷肇一（北大・環境科学）・仲岡雅裕・熊谷直喜・島袋寛盛（千葉大・自然科学）・山本智子（鹿児島大・水産）・堀正和（瀬戸内水研）・野田隆史（北大・地球環境）

「石狩浜における海浜草本植物の成長・繁殖・資源獲得様式について」 稲葉遥子（北大・環境科学）

「支笏湖沿岸域における底生動物群集の季節動態」 望月成・斎藤裕美（北海道東海大学・

工学部)

「泥炭採掘跡地における優占種の実生定着およびシードバンク発達様式」江川知花(北大・環境科学)

「ほ乳類の生息地選択に対する台風攪乱の影響」山崎明信(北大・農・森林生態系管理学)

「谷地坊主が形成する微環境における種子発芽及び実生生存特性」小山明日香(北大・環境科学)

「マイクロサテライト DNA を用いたアカネズミの配偶システムの解析：乱婚の指標としてのマルチプルパタニティ」野田悟志(北大・環境科学)・齊藤隆(北大・FSC)

「開所に生育する落葉広葉樹 13 種の頂部当年枝特性の樹高依存性」宮田理恵(北大・環境科学)・久保拓弥・甲山隆司(北大・地球環境)

「エゾサンショウウオ幼生の環境変化に応じた異なる体色パターン」浅野由佳理(北大・水産)・岸田治(京大・生態学研究センター)・西村欣也(北大・水産科学)

「岩礁潮間帯固着動物群集における種多様性の緯度勾配の空間スケール変異性：生態プロセスの影響の検証」奥田武弘(北大・環境科学)・野田隆史(北大・地球環境)・山本智子(鹿児島大・水産)・堀正和(瀬戸内水研)・仲岡雅裕(千葉大・自然科学)

「富栄養化が捕食者の絶滅リスクを下げる状況を発生させる一被食者が捕食者の死骸を摂取するモデルにてー」野崎開太(北大・水産)・西村欣也(北大・水産科学)

「種内捕食 - 被食相互作用における対抗的表現型可塑性」井川拓也(北大・水産科学)・岸田治(京大・生態研セ)・西村欣也(北大・水産科学)

「石狩低地帯におけるエゾクロテンとホンドテンの側所的分布ー自動撮影法と糞 DNA 分析による確認」坂田大輔・東正剛(北大・環境科学)

【一般講演】

「生態学的思考」小野山敬一(第 n 宇宙系第 i 銀河系第 k 太陽系地球村)

「高山植物ミヤマキンバイのハビタットに応じたエコタイプ分化の起源」平尾章(北大・地球環境)・下野嘉子(農環研)・池田啓(京大・人間環境)・和田直也(富山大・極東地域センター)・工藤岳(北大・地球環境)

「釧路湿原北斗にみられる湧水辺植生の種組成と立地」佐藤雅俊(帯畜大・環境総合科学)

「鳥類の保全医学研究拠点としての酪農学園大学野生動物医学センター WAMC と最近の疫学調査事例の紹介」浅川満彦(酪農学園大学獣医学部感染・病理部門 /野生動物医学センター WAMC)

「GPS テレメで見る越冬期のヒグマの行動(予報)」小平真佐夫・中西将尚・葛西真輔・岡田秀明・山中正実(知床財団)

* 奨励賞に、小暮慎一郎(北大・環境科学)、野崎開太(北大・水産)、矢澤佳子(北大・環境科学)の3名を選び、賞状と寸志を送った。

【総会】

議題

1. 本年度活動報告
2. 会計報告
3. 来年度活動予定
4. その他

2008年1月1日より、地区会事務局を北海道大学低温科学研究所に移した。なお、役員
の任期は従来1月1日より2年後の12月31日としていたが、毎年2月に行われる地区
大会事務に対応するなどの理由のため、今後は4月1日から2年後の3月31日までとす
ることを総会に諮り、承認された。ただし、現役員に限っては2008年1月1日より2009
年3月31日までを任期とすることとなった。なお、会計年度については従来通り1月1日
から12月31日までとする。

(3) 第58回日本生態学会札幌大会会場として、2011年3月10日(木)～3月14
日(月)の日程で札幌コンベンションセンターを原登志彦地区会長の名前で2008年4月9
日に仮予約し、全国委員である齊藤隆氏に連絡した。

(4) 北海道大学大学院に所属する院生より、2009年2月28日、3月1日に予定の学生企
画型研究会『北海道若手生態学研究会』(旧 進化植物研究会)に対する日本生態学会北海道
地区会による共催依頼があり、地区委員に諮ったうえこれを承認した。この研究会開催費
用として、地区会費から26万円程度(詳細は未定)を2009年度会費より補助する予定で
ある。